

県政の主な動きをお伝えします。

ホームページ「[こちら知事室です](#)」に、定例記者会見のようすや県政の考え方も掲載しています。また、「[奈良県フォトニュース](#)」(www.pref.nara.jp/43322.htm)で県内のニュース等を写真と記事でお伝えしています。ぜひご覧ください。

奈良県スポーツ特別功労賞

5月20日に東京・有明コロシアムで行われた世界ボクシング評議会(WBC)ライトフライ級王座決定戦で勝利し、世界チャンピオンとなった拳四朗選手(県立奈良朱雀高校出身)の奈良県スポーツ特別功労表彰式を7月12日に行いました。

県庁正面玄関ホールで多くの県民から拍手で迎えを受け、その後、知事室で行われた表彰式では、荒井正吾奈良県知事が「小さい体で大変な練習を積み重ねられてす



左からせんとくん、拳四朗選手、父で所属ジム会長の寺地永さん

「ごいすね」と祝辞を述べました。拳四朗選手は「高校時代を奈良で過ごし、大学時代も奈良県代表として国体に出場していたので、このような賞に選ばれてうれしい。県民のみなさんに応援していただけるよう、次回の防衛戦も頑張りたい」と今後の抱負を語りました。

平成8年に創設した奈良県スポーツ特別功労賞は、県のスポーツ振興に特に功績を残し、県民に希望と感動を与えた選手を表彰する制度で、拳四朗選手は17人目の受賞者となりました。



表彰式のようす

問 県スポーツ振興課 ☎0742-27-9863 ☎0742-23-7105

第28回紀伊半島知事会議

7月6日、和歌山県田辺市の和歌山県立情報交流センタービッグ・ユーにおいて、第28回紀伊半島知事会議を開催しました。この会議は、紀伊半島地域の振興と活性化を図るため、広域的課題について協議し、一体的かつ総合的な施策の展開を図ることを目的として、毎年紀伊半島の3県が開催しているものです。

会議には、荒井知事、三重県の鈴木知事、和歌山県の仁坂知事が出席し、林業振興や大規模災害対策、道路・交通対策などにつ



意見交換を行う各知事(左:鈴木三重県知事、中央:仁坂和歌山県知事)

いて意見交換を行いました。林業振興については、スイスのフォレストスター制度などをモデルとして、条例制定も視野に入れ検討を進めている森林環境管理制度の構築について奈良県から説明しました。この制度について、3県が共同して取り組んでいくことや、国において創設される予定の森林環境税を「紀伊半島の新たな森林環境管理体制の構築」に活用できるよう共同で要望することなど検討を進めていくことで合意しました。



林業振興について熱心に語る荒井知事

問 県南部東部振興課 ☎0744-48-3015 ☎0744-48-3135

奈良で事業展開を、企業立地セミナー

7月21日、県内への企業立地を促進するため、奈良県の魅力や立地環境等を紹介する「奈良県企業立地セミナー」が大阪市内のホテルで開催され、企業関係者ら約300人が参加しました。

銅合金を中心とした機械部品の製造・販売や、新たに航空機部品製造へも進出した株式会社力イバラの代表取締役 貝原剛さんから「社会を支えるものづくり」と題した講演がありました。講演の中で、貝原さんは、「奈良は、高規格道路の充実により、大都市圏へのアクセスも良い。また災害が少ないなど、工場立地にとつ

て最適。A1やIOTなど最新設備を導入した新工場を県内で操業したことで、さらなる飛躍を遂げたい」と話しました。

次に、荒井知事が「奈良県での新事業展開への誘い」と題したプレゼンテーションを行い、奈良県における好調な企業立地動向に触れながら、交通アクセスや暮らしやすさなど、優れた企業立地環境や、企業立地のための優遇制度などを紹介しました。

また、大和郡山市の上田市長からは、市内への企業立地の取り組みについて紹介がありました。



会場の様子



荒井知事によるプレゼンテーション



貝原代表取締役



上田大和郡山市長

問 県企業立地推進課 ☎0742-27-8813 FAX 0742-27-4473

平成29年度奈良県献血功績者表彰式

8月4日、県庁で平成29年度奈良県献血功績者表彰式を行いました。献血事業の推進に關してその実績が特に優秀で、他の模範となる団体として厚生労働大臣表彰状が大和高田市に、厚生労働大臣感謝状が東洋シール工業株式会社ほか3団体に伝達されました。

また、奈良県献血推進協議会会長表彰状が社会福祉法人正和会ほか4団体に、奈良県献血推進協議会会長感謝状が日本私鉄労働組合総連合会奈良交通労働組合ほか7



奈良県献血功績者の皆さん



「献血運動啓発ポスター」入賞者

団体に授与されました。次に広く県民の皆さんに募集した「献血運動啓発ポスター」の入賞者として水倉綾馨さんほか4人に賞状が授与されました。

高齢化により、今後血液製剤を必要とする人が大幅に増加することが予想され、献血を支えていく若い世代の協力がますます重要となつていきます。

献血は誰でもできる身近なボランティアです。県では、県民の皆さんに献血にご協力いただけるよう広報を行っていきます。

問 県業務課 ☎0742-27-8670 FAX 0742-27-3029